



10月8日(水)午後、三重病院恒例の「ふれあい祭り」を開催しました。今年も大会議室をメイン会場に、実行委員が中心となって様々な企画コーナーの運営や「ふれあい隊」による病棟訪問を行いました。

開会式ではボランティアで「まんまる座」の皆さんに獅子舞を披露していただきました。大迫力の太鼓と鮮やかな笛の音色が響き渡る中、獅子が華麗に舞い踊り、来場された患者さんやご家族、職員を魅了していました。また演舞後には、大きく口を開けた獅子が頭をぱくっと噛んで回ってくれました。最初は少し怖がっていたお子さんもいましたが、最後は手を振ってくれる姿も見られ、その様子に周りの方々からも温かな笑顔がこぼれていました。まんまる座の方には、開会式に参加できなかった1病棟2病棟のかがやき特別支援学校通学生のお子さんにも、獅子舞を披露していただきました。

開会式の後には、千本引きやヨーヨー釣り、缶バッジ作り、ミッション・チャレンジ、ツウちゃんぬり絵コンテストなどの企画コーナーを、来場された皆さんに楽しんでいただきました。ヨーヨー釣りでは「釣れた!」と嬉しい歓声が響き、缶バッジ作りでは思い思いにデザインを考え世界に一つだけのオリジナル缶バッジを一生懸命作る姿が見られました。千本引きで「何が当たるかな～」と実行委員と会話しながらひもを引いたり、ミッション・チャレンジで実行委員に職業を尋ねる課題に挑戦したりと、職員とのふれあいの場にもなりました。南3病棟、5病棟にはふれあい隊とまんまる座の皆さんで病棟訪問を行い、

ヨーヨー釣りや獅子舞・お囃子にて楽しい時間をお届けすることができました。

今年もふれあい祭りでたくさんの笑顔に出会うことができ、大変嬉しく思いました。普段の入院生活とは少し違った楽しいひとときが、皆さんの気分転換や元気のきっかけになっていたら幸いです。ご参加・ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございます。(児童指導員 森 日奈子)

お祭りと聞くと大人もワクワクしますが、2病棟の子どもたちも「どんなコーナーがあるんだろう?」「景品もらえるのかな?」と朝から楽しみにする様子が見られました。会場に入ると、「どのコーナーからする?」と友達やスタッフと相談をしながら体験したり、獅子舞の演舞に興味津々と時には驚いた表情で見たりしていました。毎日頑張って治療に取り組む子どもたちにとって、笑顔あふれる有意義な時間となりました。これからも季節の行事活動や余暇活動を通して、前向きに治療に取り組む気持ちを絶やさぬよう関わっていきたいと思います。

(保育士 森田 清香)

今回病院行事のふれあい祭りが開催され、5病棟の患者さんもプレイルームやベッドサイドでそれぞれ参加していただきました。獅子舞のお囃子が病棟中に響く中、「ふれあい隊」がベッドサイドを訪問し、ヨーヨー釣りをしたり獅子と記念写真を撮ったりと、いつもとは違った雰囲気を感じてもらいました。病棟職員以外の人と関わる良い機会になったと思います。

(児童指導員 平田 真理子)

